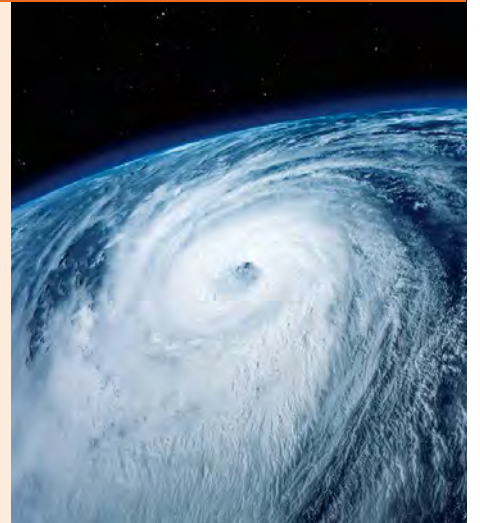


気候変動に備えよう

地球温暖化により、世界中で強い台風やハリケーン、集中豪雨、干ばつや熱波などの異常気象・気象災害が頻発するようになりました。

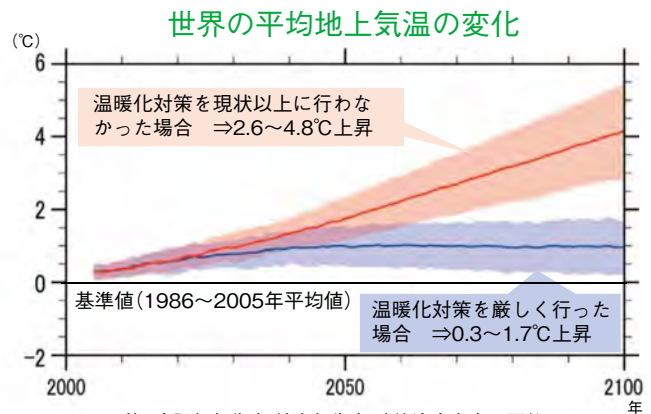
このような影響は、今後さらに深刻になっていくと考えられており、「気候危機」とも呼ばれるほどです。

一人ひとりが、気候変動の影響に備えておくことが重要です。



地球温暖化が進行している

- 世界の平均気温は、産業革命以降、100年に0.73℃のペースで上昇しました。
- 将来の気温は、今後の温暖化対策の努力によって変わります。対策を厳しく行った場合でも、21世紀末には0.3～1.7℃上昇すると予測されています。



IPCC第5次評価報告書 統合報告書 政策決定者向け要約
(2015年3月 文部科学省・経済産業省・気象庁・環境省) に加筆

気候変動の2つの対策「緩和」と「適応」

- 気候変動による影響を抑えるためには、省エネや再生可能エネルギー導入といった温室効果ガスの排出を抑える努力が必要です。これを「緩和」と呼んでいます。
- しかし、既に気候変動による影響は現れつつあります。また、「緩和」の努力を十分行ったとしても、すぐに影響がなくなることはありません。
- 「緩和」と同時に、気候変動の影響に対処して被害を少なくする「適応」を進めていくことが重要です。

温室効果ガスの増加

化石燃料の使用による
二酸化炭素の排出等

気候の変動

気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位の上昇など

気候変動の影響

生活、社会、経済、
自然環境への影響

緩和

温室効果ガスの
排出を抑制する

適応

気候変動の影響に対処し、
被害を少なくする

環境省資料をもとに作成



オール東京62市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

東京においても、気候の変化が現れています。

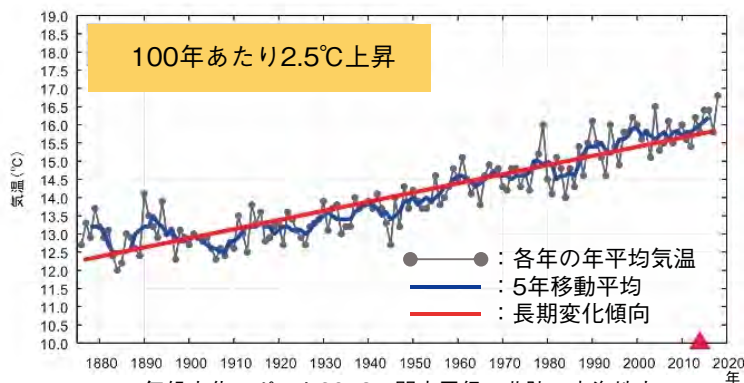
気候の変動

東京の気温は世界平均より早いペースで上昇している

- 東京の年平均気温は、世界平均よりも早いペースで上昇しています。
- これは、都市の気温が周囲よりも高くなるヒートアイランド現象の影響などが加わっているためです。



東京（千代田区）の年平均気温の変化



気候変化レポート2018—関東甲信・北陸・東海地方—
(2019年3月 東京管区気象台) に加筆

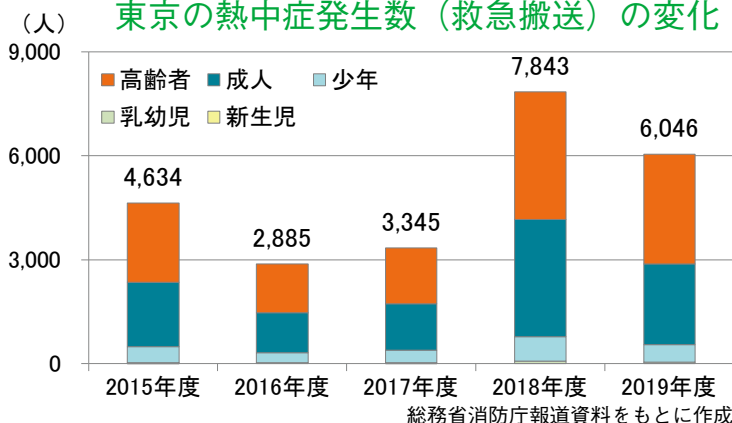
「健康影響」や「気象災害」をはじめ、生活・暮らし、経済・社会、自然環境に、さまざまな影響が生じます。

気候変動の影響

健康影響

- 東京の熱中症搬送者数は近年増えており、2018年度には、最も多い7,843人となりました。
- 今後、気温上昇に伴い、熱中症被害がさらに増えると考えられています。
- また、病気を媒介する蚊の北上などにより、感染症のリスクも懸念されます。

東京の熱中症発生数（救急搬送）の変化



他にもある、
さまざまな
影響

農林水産業への影響

- ・ コメ、果実の品質低下
- ・ スギ人工林の育成不良
- ・ 漁獲量の低下

農作物の値上がり?



水資源・水環境への影響

- ・ 渇水の増加
- ・ 水質の悪化

渇水、熱波



気候変動の影響にあらかじめ備え、社会の仕組みや、生活のあり方を変えていくのが「適応」です。

適応

気候変動の
影響への
適応 (例)

健康影響に備える

熱中症や感染症などの患者発生、健康影響を抑えるため、予防策や対処策を強化する。

気象災害に備える

豪雨災害や河川氾濫、土砂災害、高潮の頻発などの気象災害による被害を防ぐため、インフラ整備をする。

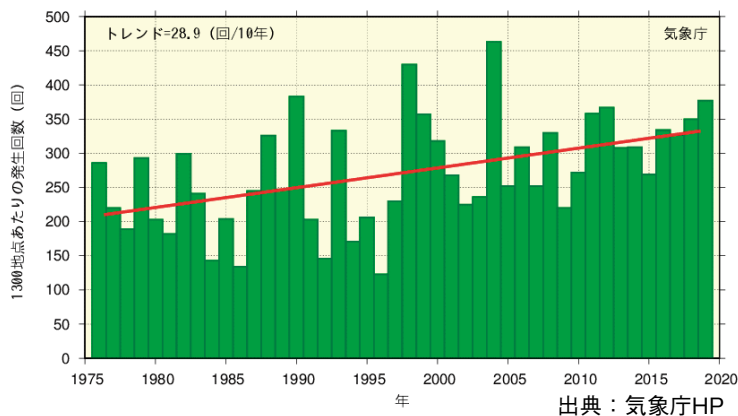
強い雨が増えている

○全国的には、1時間降水量が50mm以上の強い雨（バケツをひっくり返したように降る雨）の回数は、統計開始時から約1.4倍*に増えています。

*最近10年間（2010～2019年）と統計期間の最初の10年間（1976～1985年）のデータとの比較。



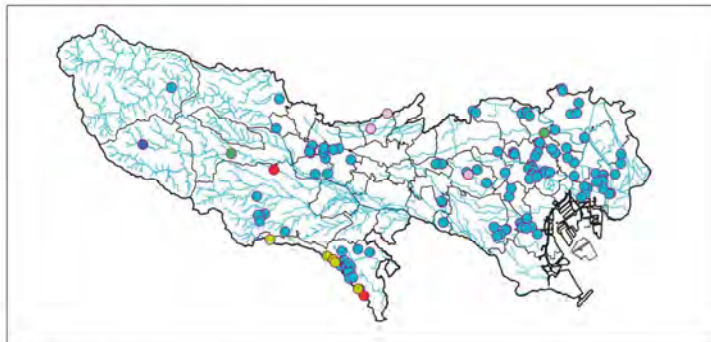
全国の1時間降水雨量50mm以上の回数の変化



気象災害

- 東京では、2007～2016年の10年間に、計132箇所ですみ水被害などの記録があります。
- 今後、豪雨の増加や台風の強大化などにより、洪水・浸水被害や土砂災害が増えると考えられています。
- また、海面水位の上昇も加わり、高潮・高波による浸水リスクも懸念されます。

東京の浸水被害などの記録（2007～2016年）



凡例 一河川 ●内水 ●溢水 □有堤部溢水 ●急傾斜地崩壊 ●内水及び溢水 ●内水又は溢水
* 冠蓋箇所が複数あり、内水・溢水が区別して整理されていないものも
 「東京都建設局 過去の水害記録～浸水実績図～」のデータをもとに作成

自然環境への影響

- ・ 植生や野生生物の分布の変化
- ・ 外来生物の侵入



調べてみよう

気候変動適応情報プラットフォーム

適応の行動を支援するツールや、優良事例など、様々な情報が得られます。

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/>



まちづくりで備える

暑さ対策として、緑地の保全・創出や屋上緑化・壁面緑化する。透水性舗装の整備、雨水貯留槽の設置促進により、浸水被害を防ぐ。

農林水産業で備える

気温上昇や強い日射による農産物の品質低下や台風被害に対応し、高温に強い品種の普及や農業施設の整備を行う。

一人ひとりができる
適応策は
こちら

一人ひとりができる適応策

気候変動の影響に対処し、被害を少なくするための「適応策」を紹介します。

○熱中症を予防しよう！



- ・エアコンの適切な使用
- ・出かける前に、気温や湿度、暑さ指数をチェック
- ・天気にあった涼しい服の着用
- ・こまめな水分・塩分の補給
- ・暑さに負けない体づくり
- ・家屋の断熱・遮熱性能の向上

熱中症予防情報サイト（環境省）

2日後までの暑さ指数（WBGT）の予測データなど

<http://www.wbgt.env.go.jp/>



○気象災害に備えよう！

- ・洪水被害予想地図（ハザードマップ）土砂災害警戒区域の確認
- ・避難場所・避難経路の確認
- ・いざというとき、どこに避難するか家族で話し合う
- ・防災訓練への参加
- ・避難行動計画（マイタイムライン）の作成



東京マイ・タイムライン（東京都）

風水害発生前の避難行動計画の作成に関する情報

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/mytimeline/index.html>



○感染症を予防しよう！



- ・虫に刺されない長袖などの着用
- ・虫よけ剤の活用
- ・蚊が育つ水たまりをなくす（片付け）

政府広報オンライン「デング熱にご注意を！」

（内閣府大臣官房政府広報室）

デング熱の特徴や予防策など

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201509/1.html>



ポイント！

自然災害の増加に伴い、「自助」「共助」の取組が、より重要になります。

自助：災害時、自分自身の命は自分で守る。

共助：町内会や学区区くらいの地域コミュニティで災害発生時に力をあわせる。

公助：公的機関が個人や地域では解決できない災害の問題に対応する。



○水の利用を工夫しよう！



- ・節水
- ・雨水タンクの設置
- ・雨水浸透マスの設置



雨水活用のススメ（国土交通省）

雨水の貯留や浸透といった雨水活用に関する情報

<http://www.mlit.go.jp/common/001285851.pdf>



イラスト出典：気候変動適応情報プラットフォーム



オール東京62市区町村共同事業

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

オール東京62気候変動適応策研究会

東京都内の市区町村が学識者・研究機関・専門家の知見を共有し、ともに学び合いながら、それぞれの地域に合った適応のための取組や適応計画の策定を目指す取組などについて研究活動を行っています。

<https://www.all62tekiou.jp/>

オール東京62気候変動適応策研究会（2020年3月発行）

事務局：公益財団法人東京市町村自治調査会

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1

東京自治会館4階

資料作成：アオイ環境株式会社

〒108-0073 東京都港区三田2-17-29